

今回は、甲状腺機能亢進症について学んでみよう!!



## No.2 猫の病気編① 甲状腺機能亢進症

猫の医

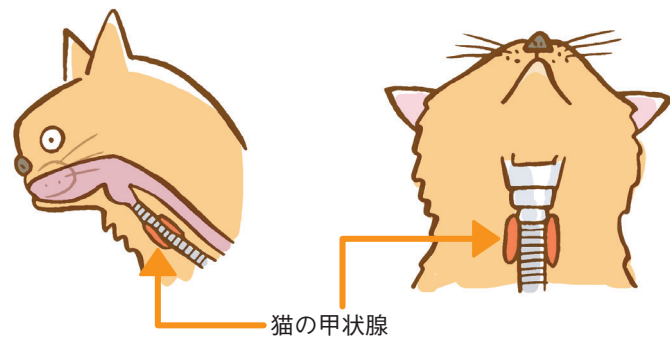
「猫が飼い主に知ってほしいと思っていること」  
No.2からは、とくに猫によくみられるとされる病気について、紹介していきます。「猫の病気編」①は、高齢猫に多い病気、「猫の甲状腺機能亢進症」を取り上

げます。ワクチン接種時の検査や、健康診断で見つかることも多い病気です。動物病院には定期的に通院し、健康診断を受けましょう。



### STEP 1 甲状腺とは

人間でも猫でも、首周辺にあり、甲状腺ホルモンを分泌している臓器です。甲状腺ホルモンには、体の新陳代謝を活性化させる作用があり、食物などに含まれるヨウ素を材料にして作り出されます。健康な体では、脳の下垂体の働きで、甲状腺ホルモンの濃度は一定に保たれています。



猫の甲状腺



### STEP 2 猫の甲状腺機能亢進症とは

甲状腺から甲状腺ホルモンが過剰に分泌されて、さまざまな不調が引き起こされる病気です。過剰な甲状腺ホルモンが、腎臓や心臓といったほかの臓器に悪影響を与えることもあります。10歳以上の高齢猫にとくに多いと言われています。治療をせずに放置すると命にかかわりますが、適切な治療を行えば、長期の延命も期待できる病気です。

### 症状



・呼吸が速い、口を開けたまま呼吸する

・体重減少

・多食（反吐に食欲不振になる猫もいます）  
・多飲多尿

・毛並みが悪くなる  
または毛が抜けてくる

・下痢、嘔吐など

・活発になる（反対に元気がなくなることもあります）  
・情緒不安定。性格が攻撃的になる、夜中に徘徊して鳴きわめく

※これらのような特徴的な症状が出ない猫もいます。

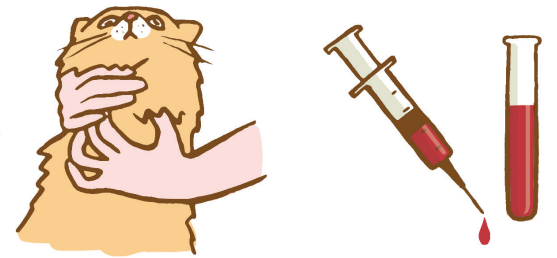
### 検査

動物病院では、下記のような検査で、甲状腺機能亢進症かどうかを検査します。

◎身体検査 ◎血液検査 ◎ホルモン検査

ほかに、血圧測定、X線検査、超音波検査、心電図検査などを行う場合もあります。

※検査方法は、猫の状態、動物病院によって異なります。詳細は、かかりつけ獣医師に確認しましょう。



### 治療

猫の甲状腺機能亢進症では、おもに以下のような治療を行います。

※治療は、猫の状態、動物病院によって異なります。詳細は、かかりつけ獣医師に確認・相談しましょう。

**【薬を飲ませる】** ※「猫に薬を飲ませるときのコツ」は裏面にあります。

#### ●抗甲状腺薬

甲状腺ホルモンの合成を阻害し、甲状腺ホルモンの分泌量を正常に戻す薬です。

治療の効果があらわれるまで数週間かかります。

※沈うつ、食欲不振、嘔吐、顔の痒み・皮膚炎、血液の異常などの副作用が出る猫もいます。

注意点を動物病院でよく確認しましょう。

※その他のくすりを飲ませる必要があるときもあります。



### 【食事療法】

●ヨウ素の含有量を低く抑えてある療法食を与えます。

●飼い主さんの判断で勝手に始めたり、やめたりしてはいけません。

また、ヨウ素を制限することで病気に作用するフードなので、ほかのおやつやフードを与えてしまうと意味がなくなります。

●療法食は、獣医師の指導のもと、きちんと与えましょう

（病状によっては、食事での管理が適さない場合があります）。



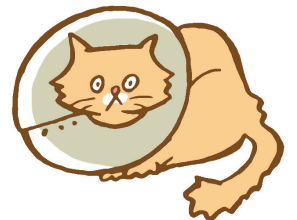
### 【甲状腺切除手術を行う】

●猫の病状や全身の状態を検査して、

手術を行えるかどうか確認してから実施します。

●術後は先生の指示どおり、きちんと通院しましょう。

●手術後にも継続的に薬を飲ませることが必要になることがあります。



### 注意点

●甲状腺機能亢進症は、10歳以上の高齢猫によくみられる病気です。

●甲状腺機能亢進症は、甲状腺以外にも全身のさまざまな内臓に負担のかかる病気です。

●7歳以上の猫ではとくに、病気を早期発見、早期治療するために、少なくとも半年に1回は健康診断やホルモン検査を定期的に受けましょう。

●甲状腺機能亢進症の猫を不用意に興奮させたり、大きなストレスを与えたりすると、「甲状腺クリーゼ」と呼ばれる命にかかわる状態に陥ることがあります。

●通院の際は、猫をすぐにキャリーケースから出さず、動物病院内の環境に慣らしてから診察してもらいましょう。また、大きな物音をたてたり、犬やほかの動物を近づけてはいけません。通院時は、上部が開くタイプのキャリーケースを利用すると便利です。

●腫れた状態の甲状腺を揉むと、物理的刺激によって甲状腺ホルモンが分泌され、症状が急激に悪化することがあります。猫の首に腫れをみつけても、安易にいじらないようにしましょう。

### REFERENCES / 参考図書

猫の甲状腺機能亢進症の診断と治療 竹内和義・著 (<http://www.takeuchi-vet.com/clinicnote/04.html>)

犬と猫の内分泌疾患ハンドブック (2011.9.11版) 松木直章・著 (<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vcpb/endo-dx.pdf>)

知っているのと、  
知らないのでは大違い！  
薬の飲ませ方のコツ  
大公開じゃ!!



## No.2 番外編 猫に薬を飲ませるコツ

猫の  
医

病気の猫に薬を飲ませるときは、なるべく猫にストレスを与えないよう、素早く・確実に行うことが重要です。ここでは、猫に薬を与える際に、工夫するとうまく与えられるポイントについて紹介します。それぞれの猫の性格に合わせて、もっとも受け入れてくれる方法で試してみましょう。

### 注意点

- どういった投薬方法が適した薬剤か、かかりつけ獣医師にかならず確認してから与えましょう。また、少しでも不安に思うことは聞いておきましょう（薬を与える時間帯に指定がある場合はきちんと守りましょう。同時に与えてはいけない薬がある場合や、食べ物に混ぜる場合、注意が必要な薬もあります）
- 猫にどうしても薬を与えることができない場合は、かかりつけ獣医師に相談しましょう。同じ薬効で、別の形や量の薬剤に変更することが可能なこともあります（難しい場合もあります）
- 薬の種類によっては、砕いてしまうと苦くなりかえって飲みにくくなる場合や、薬の効果や吸収に変化を及ぼす場合があります。かならずかかりつけの獣医師に確認しましょう（薬を粉碎する必要がある場合は、その粉末を吸い込まないように行いましょう）

こうならないように、猫に合った方法を選んで実践しましょう →

### 【錠剤、液剤、カプセルの場合】

- ウエットフード、または無塩バターや魚油などに混ぜて与える（フードと一緒にでも良い場合）
- 投薬補助用サプリメント（ペースト状）や、ピルポケットを利用する
- しっかりと保定をしながら、猫の口に薬を入れて飲ませる
- 投薬器を利用する

### 【粉薬の場合】

- ウエットフード、または無塩バターや魚油などに混ぜて与える（フードと一緒にでも良い場合）
- ガムシロップなどを適量加えてペースト状にし、上あごに塗りつけて与える
- 苦味の少ない薬なら、少量の水に混ぜて、スポイトや注射器（シリンジ）で与える
- 動物病院でカプセルに詰めてもらう、または自宅で薬用カプセルに詰めるか、小さく切ったオブラートに包んで与える（事前に動物病院に相談してから行いましょう）

### 【猫への投薬方法の参考動画（英語版）をみて事前に練習してみる】

- 2人がかりでの方法 [https://www.youtube.com/watch?v=6\\_WOKTjEINs](https://www.youtube.com/watch?v=6_WOKTjEINs)
- 投薬器を利用した方法 [https://www.youtube.com/watch?v=kkq\\_HKA7drA](https://www.youtube.com/watch?v=kkq_HKA7drA)
- 柔らかいおやつを利用した方法 <https://www.youtube.com/watch?v=7Pqdcx0fQQU>
- 錠剤粉砕器で粉末にしてから、水に混ぜて与える方法 [https://www.youtube.com/watch?v=UNC5uWz\\_1tl](https://www.youtube.com/watch?v=UNC5uWz_1tl)
- 錠剤粉砕器で粉末にしてから、ウエットフードに混ぜて与える方法 <https://www.youtube.com/watch?v=SWtnPyPQKaY>



### Lesson

## 錠剤の飲ませ方

- 1 大きなタオルなどを拵げた上に猫を座らせませす



- 2 頭以外をタオルで包みます



- 3 猫の頭の上から、親指と人差し指を猫の左右のほほに置くようにして、上あごをつかみます。上あごをつかんでいないほうの手の親指と人差し指で薬をつまみます



### Point

- 人間にとっては小さな錠剤でも、猫の体の大きさで考えると、大きなあめ玉くらいの粒を飲み込まなくてはいけないというイメージで、やさしく行いましょう
- 何度か失敗すると、薬剤の表面が湿り、与えにくくなります。思い切って新しい錠剤に替えたほうが良いときもあります
- 猫は体を押さえつけられることだけで緊張することが多いのですが、大好きなおやつやウエットフードを上記と同じ方法で少量ずつ何回か与えると、薬を与えることにも早く慣れます。とくに長期の投薬が必要な猫では、1日に何回かは薬と同じ方法でおやつやフードを与えることを日課にすると良いでしょう。

### REFERENCES / 参考図書

服部幸、Felis vol.03 interview「猫の生理・生態に配慮した薬剤選択と投薬方法の実践」、international cat care, How to give your cat a tablet (<http://www.icatcare.org:8080/advice/how-guides/how-give-your-cat-tablet>), Martha Cannon: Helping the medicine go down, Fab, catcare, issue 2, 2010

- 4 上あごを持った手で猫の頭を上へ少しあげながら、薬を持った手の中指を下あごの犬歯の間にやさしく挿入し、口を開かせませす



- 5 口が空いたら、できるかぎりすばやく猫の舌の頂点より奥へ薬を入れ、鼻先を少しあげたまま口をしばらく閉じておき、飲み込むのを見届けます。このときあまり顔を上に向けすぎると誤嚥を招くので注意が必要です



- 6 猫が薬を飲み込んだら、薬が胃にすばやく移動できるよう、少量の水を猫の口に入れます（水を入れたシリンジを猫の口の側面から犬歯と臼歯の間に差し込み、ゆっくりと水を注入します）。または、無塩バターをひとかけらそのまま与えるか、猫がなめとれるよう鼻の下に塗り付けて、嚥下を促しても良いでしょう

